

トク

「サンマッシュユの古里は本県。宇都宮市での全国大会は感慨ひとしおです」

キノコ種菌開発の北



研(壬生町)の川嶋健市社長(64)は、自社種菌を使った菌床シイタケ生産者組織「全国サンマッシュユ生産協議会」第30回大会開催に30年間の思いをはせ

本県での全国大会に感慨

る。

1986年、ナメコ生産者約60人が鬼怒川温泉に集まり、夏場に菌床シイタケを作ろう、と組織したのが同協議会。輝く太陽のように発展させたいとの願いを込めた。現在の会員は2千人。「生産者一人一人が研究員だ」と思っている。みんな「で技術を共有し高めてきた」とたたえる。

今後は安全安心で、より新鮮なシイタケが消費者に届けられるよう流通の課題にも取り組むという。